

2025/04/18

ウクライナ・ロシア問題とキリル文字圏の経済展望

原案：Daichi SASAGE（捧大地）

キリル文字圏の自動車共同生産構想 ～自動車において運命共同体構想～

第1 キリル文字圏の将来展望

キリル文字圏の、将来に向かっての、自動車を中心とした共同経済展望を作成し、将来における紛争予防と経済協力体制を制定する。

第2 生産分担

1 前提

- (1) ロシアが、ロシアが占領しているウクライナの領土を返還したうえで、ハルキウがウクライナの領土であることを重ねて確認する。そのうえで、ウクライナがハルキウをロシアに賃貸する。
- (2) ロシアが占領しているウクライナの領土を全て返還する。
- (3) さらに、ウクライナと独立国家としてのモルドバ共和国の NATO 加盟をロシアも支持する。
- (4) そのうえで、ウクライナ戦争の終結を当事者国(ウクライナ、ロシア、モルドバ共和国、ベラルーシ、北朝鮮)、EU、NATO、国連で全体で、将来にわたって合意する。

2 キリル文字圏の自動車共同生産工場分担

- (1)ハルキウに完成車工場（4WDのみ）
- (2)モルドバ共和国に、台湾・日本・国連の共同管理下で半導体工場を建設する。
- (3)プロヴディフに自動車専用トランスミッション工場を建設する。
- (4)ブカレストにエンジン工場を建設する。
- (5)アテネに製鉄工場を建設する。
- (6)イスタンブールにタイヤ工場を建設する。
- (7)自動車内装材はペルシャ地域で生産する。

第3 生産車種

1 レクサス・トヨタ：ランドクルーザーのみ。

2 BMW：

3 Mercedes Benz：